

# 田尻だより

平成 18 年

8月 号

Vol. 41

次回の田尻便りは  
9月発行予定!

暦も8月に突入しま

したが、東北地方はま

だ梅雨明けしません。

天氣が良くなつたかと

思えば雨が降って寒く

なり、まるで3年前の

大冷害を思い起こさせ

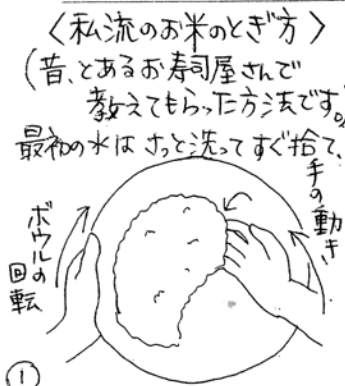
るお天氣続きで、農家

の間でも不安が広がっ

ています。

早く、どうか回復

してほしいものです。



① 左手でボウルを回しながら、右手でお米(土下を返すような気持ちで)すくい寄せる。

〔夏季の低温〕

7月の末から、私た

ちは深水管理を呼びか

けています。この時期、

稲の株元かぶもとの部分では穂

になる部分が作られて

いて、この若い穂を保

温するため、深く水

を張る必要があります。

この時期に深水で保

温しても、穂が伸びて

空中に顔を出す頃まで

に気温が回復していな

ければ、穂が寒さに直

接当たってしまいます。

そうすると花粉がうま

3年前をご存知の方

も多いと思いますが、

あの年は本当にひどく、

何度も皆さんからお

声に励まされました。

自然を前に自分たちの

無力さを思い知るとき、

どれだけ自分の田んぼ

を信じられるかは、皆

さんの暖かい支えがあ

てこそなのだ、痛感

した年でもありました。

② 手をひらきつけ根部分で

ぎゅっと軽く押しつける。

① ②をすばやくテンポよく

くり返し、ボウルが1周したら

(元の位置に戻したら)よく振る。

くこの方法で2回とぐと お米がきれいになります。



## 嫁日記

田舎で子育てが出来て良いですね、と言われる事がよくあります。そうでしょうか。私はそうは思いません。

\*\*\*

まださくらが生後2ヶ月の頃、梅雨の長雨がようやく去り、久しぶりに窓を開放して日向ぼっこをしていたら、つんと喉の奥が痛みま

した。慣行農家の人々が、ようやくの散布日和とばかりに一斉に農薬を散布しているのです。背筋が寒くなり、慌てて窓を閉めました。これが田舎の現実です。

\*\*\*

一人の母として思うなら、高いお金を払ってでも、安全なところで安全な食べ物を食べさせてやりたい...それが私の正直な本音です。

## 未 暦 ~こめごよみ~

- 7月2日 各地区の生き物調査をして回りました。
- 7月7日 畦畔の草刈をしました。
- 7月22日 畦畔の草刈をしました。

天候不順で、いもち病(低温が続くと発生しやすい病気、収量が低下する)の発生もちらほらと見られるようになって来ました。より一層の注意が必要です。

↑ おいしいお米のとぎ方を知っていたら教えて下さい!

絵と文 / 小野寺 みる。